

- 問1 4世紀から5世紀にかけての古墳時代、大陸から日本列島へ移り住んだ渡来人によって伝えられた、青灰色で非常に硬い土器の名称を答えなさい。
(2023年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 1. 縄文土器 | 2. 土師器 | 3. 弥生土器 | 4. 須恵器 |
|---------|--------|---------|--------|
- 問2 ヤマト王権が巨大な前方後円墳を築き、その周囲に武装した人物の像などの埴輪を並べたり、鉄剣に首長の称号を刻んだりした歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。
(2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 貴族による摂政・関白の政治を安定させるための儀式として行ったため | 2. 各地の豪族に対して、王権の強大な軍勢力や政治的な支配力を示すため | 3. 仏教を全国に広めるために、寺院の代わりとして巨大な墓を建立したため | 4. 大陸から伝わった稲作の技術を記念し、収穫を祝う祭祀の場とするため |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
- 問3 巨大な前方後円墳が各地で盛んに造られていた古墳時代の5世紀ごろ、ヤマト王権の王たちは、自らの地位を国際的に認めさせるために中国の王朝へ使節を送りました。このとき、倭の五王が朝鮮半島での軍事的な指揮権などを認めてもらうために交渉を行った相手は、当時の中国のどの勢力ですか。
(2024年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------|------|------|
| 1. 中国の南朝 | 2. 漢 | 3. 唐 | 4. 隋 |
|----------|------|------|------|
- 問4 3世紀ごろの中国大陸の情勢と、当時の日本との関わりについて述べた文として、内容が正しいものを一つ選びなさい。
(2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 秦の王が初めて中国を統一して始皇帝と名乗り、日本を含む周辺地域に大規模な軍隊を派遣した。 | 2. 唐が周辺諸国を征服する強大な帝国を築いており、日本からは律令制度を学ぶために遣唐使が送られた。 | 3. 隋が南北に分裂していた中国を統一した時期であり、聖徳太子が小野妹子を派遣して交流を深めた。 | 4. 魏・呉・蜀の三つの国が分立して争っており、邪馬台国の卑弥呼はそのうちの魏に使いを送った。 |
|---|--|--|---|
- 問5 倭の五王の一人である「武」は、中国の南朝の皇帝に上表文（手紙）を送り、自らの祖先がいかにして国土を広げたかを伝えました。この「武」は、日本の歴史上のどの人物であると比定（推定）されていますか。
(2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------------|------------------|--------------|
| 1. 卑弥呼 | 2. 中大兄皇子（天智天皇） | 3. ワカタケル大王（雄略天皇） | 4. 聖徳太子（厩戸王） |
|--------|----------------|------------------|--------------|
- 問6 4世紀から7世紀にかけて、近畿地方の有力な一族を中心として組織され、日本の大部分を統治した政治組織の仕組みについて述べたものとして最も適切なものはどれですか。
(2022年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 地方の武士が幕府を開き、土地の支配権を保證することで全国の武士を統制した。 | 2. 大王（おおきみ）と呼ばれる首長を中心として、各地の有力な豪族が連合して構成された。 | 3. 漢の皇帝から授けられた金印を持つ王が、中国の王朝に対して朝貢を行うことで統治した。 | 4. 貴族が摂政や関白の職を独占し、天皇に代わって政治の実権を握る体制がとられた。 |
|--|--|--|---|
- 問7 3世紀後半から6世紀にかけて、近畿地方だけでなく九州から東北南部までの広い範囲で、同じ「前方後円墳」という形式の古墳が作られた理由として、最も適切なものはどれか。
(2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 中国の皇帝から、日本全土を統一するためにこの形状で墓を作るよう命じられたため。 | 2. ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。 | 3. 仏教の教えに基づき、円形と方形を組み合わせることで死者の供養になると信じられたため。 | 4. 稲作の普及により食料が豊富になったため、農作業の休憩所として全国で同じ形が採用されたため。 |
|--|--|---|--|
- 問8 5世紀後半、現在の埼玉県にある稲荷山古墳と熊本県にある江田船山古墳から、金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれた鉄剣や鉄刀が出土しました。これらの出土品に共通して刻まれていた人物の名と、そこから推測される当時のヤマト政権（大和政権）の状況として適切なものはどれですか。
(2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 聖徳太子の名が刻まれており、天皇を中心とした中央集権体制が全国で完成していたことがわかる。 | 2. 卑弥呼の名が刻まれており、邪馬台国の勢力が西日本から東日本一帯に広がっていたことがわかる。 | 3. ワカタケル大王の名が刻まれており、ヤマト政権の勢力が九州北部から関東地方まで及んでいたことがわかる。 | 4. 中大兄皇子の名が刻まれており、律令に基づいた地方支配が関東や九州まで及んでいたことがわかる。 |
|--|--|---|---|
- 問9 西ローマ帝国が滅亡した476年ごろから、遣隋使が派遣される607年ごろまでの期間における、日本列島と周辺地域の交流の様子を説明したものとして最も適切なものはどれか。
(2026年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 朝鮮半島の国家から將軍の代替わりごとに公式な使節団が派遣され、儒教の交流が行われた。 | 2. 対馬などの沿岸部を拠点とする集団が、食料や人々を奪うために大陸沿岸を襲撃した。 | 3. 朝鮮半島の戦乱を避けて移住してきた人々が、養蚕や機織り、文字などの技術を伝えた。 | 4. シルクロードを経由して西アジアの文化が直接日本の庶民の生活に浸透した。 |
|---|--|---|--|
- 問10 古墳時代に、前方後円墳という特定の形式が日本各地の有力者の墓として採用されたことは、当時の政治状況においてどのようなことを意味していますか。
(2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 各地の豪族が独自の宗教観に基づき、異なる形式の墓を競って造ったこと | 2. 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと | 3. 大陸から伝来した仏教に基づき、全国一斉に寺院の建立が始まったこと | 4. 狩猟・採集中心の生活から、稲作を中心とする社会へ移行し始めたこと |
|--------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
- 問11 滋賀県の古保利古墳群のように、この時期に築造された前方後円墳などの古墳文化は、当時の東アジア情勢と深く関わっています。4世紀末から5世紀にかけての、日本（倭）と朝鮮半島諸国との関係についての説明として正しいものを次から選びなさい。
(2024年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|---|
| 1. 日本は高句麗と連合して百済を攻め、その見返りとして仏教の公伝を受けた | 2. 高句麗の好太王（広開土王）の碑文には、倭が海を渡って百済や新羅を破り、高句麗と戦ったことが記されている | 3. 当時の日本は聖徳太子を中心に、隋に対して「日出づる処の天子」で始まる国書を送ることに専念し、半島情勢には介入しなかった | 4. 日本は新羅と強固な同盟を結び、高句麗を滅ぼして朝鮮半島北部に領土を広げた |
|---------------------------------------|--|--|---|
- 問12 5世紀ごろ、大和政権（ヤマト王権）の支配が関東地方や九州地方まで及んでいたことを示す歴史資料があります。埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に、その名が刻まれていた人物として正しいものを選びなさい。
(2019年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|------------|----------|
| 1. 聖徳太子 | 2. 卑弥呼 | 3. ワカタケル大王 | 4. 中大兄皇子 |
|---------|--------|------------|----------|
- 問13 大和政権（ヤマト王権）において、朝鮮半島から移り住んだ人々の知識や能力が、政権の運営にどのように活かされたか。当時の記録や実務に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。
(2024年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 九州北部の沿岸部で、唐や新羅などの外国勢力の侵攻を監視・防御する軍事的な役割に特化した。 | 2. 將軍から土地の支配権を認められる代わりに、軍役や番役を果たす主従関係の基盤となった。 | 3. 文字の読み書きや計算の能力を活かし、公文書の作成や財政管理といった行政実務を担った。 | 4. 独自の文字を開発することで、それまで口伝のみであった日本の神話を初めて文字で記録した。 |
|---|---|---|--|